

帆布無地のれん



生地の特徴

帆布(はんぷ)とは、平織りの厚手生地のことを言います。別名“キャンバス (canvas)”とも呼ばれ、油絵用のキャンバスはその名の通りキャンバス生地を木枠に張って下地処理が施されたものです。

日本では昔、帆船の帆に使うための、厚手で丈夫な布として作られたのが始まりであることから“帆布(はんぷ)”と呼ばれています。密度と強度がある織物なので、テントの材料・パラシュート材料・石炭運搬用袋・牛乳瓶手提げ袋・靴の素材など、時代とともに、さまざまな用途で使用されています。

今回は、この丈夫な生地を使用して5色の暖簾を展開いたしました。



NHM0025
AA (赤)



帆布無地のれん (2割上部袋縫い)

【製品サイズ】 横90cm×縦150cm

【生地素材】 綿100%

【価格】 ￥6,400- (税抜)

※ 別寸・別注のれんについては、担当者までお問い合わせください。
防炎加工等については、別途お見積りとなります。



NHM0025
BT (藍鉄)



NHM0025
YS (黄水仙)



NHM0025
HH (グレー)



NHM0025
TU (栗梅)

詳しくは弊社担当者までお問い合わせ下さい。

www.the.kyoto.jp